

令和6年
7月発行

所在地だより

パトロール

茂木警察署
63-0110

水難・山岳事故の 防止について

水難事故の特徴

- 10代の若者による水難事故は7～8月に集中。
- 年代別では特に18歳以下と60歳以上の世代が事故に遭っている。
- 事故の多くが河川で発生。

水難事故・防止ポイント



川遊びは急な増水に注意！
ゲリラ豪雨が増えています！

- 小さいお子さんには…
 - ・保護者が目を離さない。
 - ・立入禁止場所がなぜ危ないのか、家庭でもわかりやすく教えてあげましょう。
- 小・中・高校生には…
 - ・危険な場所で飛び込むなど、旺盛な冒険心が原因で事故に発展しています。無理なことはしない、させないよう家庭で指導をしましょう！
- 川に入る場合の注意
 - ・一見穏やかな川も、水中では流れが強い場合があります。ウェットスーツやライフジャケットの着用をしましょう！
- ・飲酒しての入水はもつてのほか！絶対に止めてください。



山岳事故の特徴

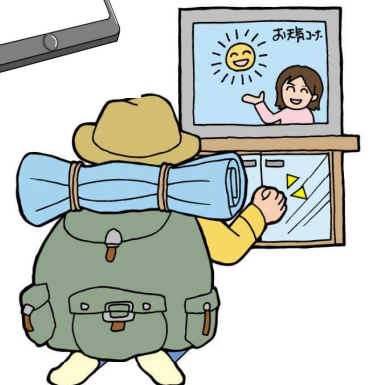
- 令和5年中、全国で738件809人(死者52人)
栃木県は、13件14人(死者1人)の山岳遭難が発生しています。



年代別では40歳以上の方が全体の約8割。
遭難者の多くが登山計画書を未提出。

山岳事故・防止ポイント

- 登山前**
 - ・事前にルート確認。
 - ・経験・体力・技術等に応じた無理のない計画を。
 - ・単独登山は控え、複数で。
 - ・登山カード、登山計画書を提出し、家族にもコースや帰宅時間を知らせておきましょう。
- 登山中**
 - ・悪天候や体調不良の時は、無理せず引き返す勇気を。
 - ・目的地に着かなくても日暮れまでに下山を。
 - ・もしもの場合の準備は万全に！
(照明具、雨合羽、非常食、地図、携帯電話等)



夏山でも装備はしっかり、無理をしない！